



進路だより 第5号

令和4年(2022年)
9月30日発行
球磨支援学校進路指導部

高等部3年生 現場実習・校内実習



就労・進路決定を見据え、9月12日(月)から9月27日(火)までの10日間、高等部3年生は一般事業所や福祉事業所で現場実習を行いました。3年生全体で行う実習としては最後の実習になります。感染予防等により予定していた日程で実習ができず、校内実習になった生徒もいましたが、それぞれが自分の課題・目標を意識して精一杯頑張っていました。一般就労を目標としている3年生が就労を見据えた現場実習をするにあたり、実習を終えての評価会の中で話題にあがるのが「コミュニケーション」についてです。「挨拶」「返事」はもちろんですが、職場の人とコミュニケーションが取れることが重視されているようです。常日頃から「挨拶」「返事」「報告・連絡・相談」に関しては指導しているところですが、やはりどの事業所でもコミュニケーション能力は求められていると感じました。

高等部3年生は今まさに進路決定に向けて頑張っている最中です。それぞれがこれまでに身につけてきた力や個性が評価され、進路決定できることを願っています。



最近の話題

障害者総合支援法・児童福祉法の見直しに向けて

現在、障害者総合支援法・児童福祉法の見直しに向けて、国の社会福祉審議会障害者部会で今後の方向性と課題を整理しています。議論されているテーマは多岐にわたりますが、就労支援について現状をお知らせします。卒業後の進路先の一つとして「就労選択支援(仮)」を創設するなど、高等部卒業後の進路にも変化することが考えられます。また、新たな情報が出された場合は進路だより等でお知らせいたします。

就労支援に関する議論の方向性

- ①就労に向けたアセスメント(※)に特化したサービス「就労選択支援(仮)」を創設
- ②一般就労した直後や休職からの復帰時などに、就労移行支援や就労継続支援(A型・B型)が利用できるよう検討
- ③就労継続支援A型のあり方や役割について検討
- ④重度障がい者の職場や通勤に対する支援の拡充

※障がい者雇用におけるアセスメント・・・障がい者が就業を通じて、定着・活躍するために、人材を適切かつ客観的に見極め、評価すること。